

第5回 南あわじ市総合計画審議会 議事要旨

【日時】令和4年2月25日（金）14：00～15：10

【場所】福良地区公民館

【出席者】

委員 15名（五十音順）

相野委員、市川委員、樫本委員、柏委員、片山委員、清川委員、草地委員、久保委員、小磯委員、武中委員、出口委員、飛田委員、登里委員、原委員、森委員

事務局：5名

総務企画部付部長（企画担当）、ふるさと創生課長、ふるさと創生課担当3名

事業者：3名（総合計画策定支援業務受託者）

【議事要旨】

1. 開会

事務局から開会の言葉

2. あいさつ

原会長より、あいさつ

3. 報告・協議事項

①意見募集（パブリックコメント）結果について

事務局より、パブリックコメント結果について説明があった。

○審議

会 長：質問、意見いかがか。

委 員：パブリックコメントが1件しか寄せられなかったことについて、件数が少ないように感じるが、通常これくらいなのか。

事務局：総合計画前期基本計画策定の時は、14件あった。今年度、ふるさと創生課でパブリックコメントを行った計画のうち、過疎地域持続的発展計画は2件あった。また、平成30年に策定した男女共同参画計画では、3件あった。今回は、事務局としても件数が少なかったと思うが、パブリックコメントについては市のホームページにも載せ、市民交流センターでも閲覧が出来るように配慮した。

委 員：最終案には「市民の意見を反映」と書かれているが、具体的に書いてしまうと、動かせなくなってしまうのではないかと思う。次の総合計画を策定する際には、p.98のめざす姿に「多くの人に関心を寄せるまち」とあるように、パブリックコメントについてももう少し件数が集まれば良いのではないか。

事務局：本市としても、市の情報に関して p. 98 の現状と課題のところでは書かせていただいている。市の情報の入手先について、後期基本計画策定の際に行ったアンケートの結果では、「市の広報誌」が多かった。また、ケーブルテレビで情報を得ている人も多かった。このような方たちは、比較的年齢が高い。一方で、若い層では SNS から情報を得ている。このように、年齢別、得たい情報別でも異なる。今後、どういう視点で情報発信していくか検討する。

②後期基本計画（最終案）について

事務局より第4回審議会の質問事項の回答と、後期基本計画最終案についての説明があった。

○審議

会 長：質問、意見いかがか。

委 員：p. 44 の担当課のところでは、「学校教育課」を追記したという説明があったが、学校教育課はどのように関係しているのか。

事務局：p. 45 の施策の展開3にある「子どもたちが“なりたい自分”になるために、自分から“やりたい”と思う気持ちの芽生えを保護者と一緒に育ていける環境づくりに取り組めます」について、子育てゆめるん課も該当するが、学校教育課も担当課であると聞いており追記した。それに伴い、施策全体としても、子育てゆめるん課だけでなく、学校教育課も入るべきとのことで追記した。

委 員：「やりたいと思う気持ちを芽生える」ということではあったが、指標の中には何も書かれていない。「なりたい自分」に関して、事業の中で入れてもらえればわかると思うが、「学校教育課」を入れているだけにしか思えない。

事務局：学校教育課では「小学校への入学祝金の支給」「大学などの教育資金に係る借入金に対する利子補給を実施」を行っている。また、「なりたい自分になる」という細かな取り組みの内容に関しては、p. 46～47 に記載している。

③市長への答申について

事務局より、答申案について説明があった。

○審議

異議なし

4. 市長への答申

原会長より、市長に対して答申が行われた。

5. 閉会

登里副会長より、あいさつ